

コミュニティ・スクールだより

第26号

名張市教育委員会事務局発行
令和3(2021)年12月15日

連携・協働の視点 ～学校と地域をつなぐ 防災訓練～

11月20日(土)に行われた名張市総合防災訓練に際し、市内の中学校では、学校や地域の実情に応じた防災訓練・防災学習が実施されました。

桔梗が丘中学校では、全校生徒が居住地域で行われる地域防災訓練に参加することにより、地域の方とふれあい、地域住民の一員であることを自覚し、災害発生時には地域住民と協働した行動がとれることを目的に実施されました。学校運営協議会でも訓練に向けて熟議を行いました。



①



②

- ①地域の方による防災講話
- ②屋内簡易テント設営
- ③地域住民との交流
- ④屋外テント設営
- ⑤消火訓練

桔
中



③



④



⑤

★コミュニティ・スクールの視点★

「CSとして何に取り組んでいるか」ではなく(取組ありきではなく、取組をして終わってしまうのではなく)、

1. 子どもたち(児童生徒)により変容が見られるか。
 2. 学校が組織体として機能し、教員の豊かな教育活動が主体的に展開しているか。
 3. 地域住民の学びや動きが広がり、住民のつながりが生まれ、地域が元気になっているか。
- の3点が重要です。

名張中学校では、在宅時での災害を仮定して、生徒個々が地域の避難所(一時避難所と市指定避難所)を確認しました。予測不能な災害に対し、自分の身を守るだけでなく、地域の一員として自分の安全を確保したうえで、災害時に積極的に活躍できるように、地域に出向いての学習を進めました。タブレットを活用するなど帰宅後も課題に取り組みました。

名
中



【一時避難所参集】



【市指定避難所参集】

北中学校では、薦原地区、美旗地区からなる「北中学校避難所運営委員会」を中心に避難所運営訓練が行われました。生徒会のメンバーを中心に訓練に参加し、他の生徒はその様子を視聴し、zoomを活用したオンラインで防災学習を行いました。災害が起こった時に、地域の一員として何ができるかを考える機会となりました。

北
中



【コロナ対策健康チェック】



【物資運搬】



【屋内テント設営】

「中学生は、地域の戦力だ！」
と褒められました。

「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて

学習指導要領では“よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る”という理念を学校と地域が共有し共に連携・協働しながら未来の創り手となるために必要な資質・能力を子どもたちに育てていくことが重視されています。そのためには**校長の意図やマネジメントが重要**です。

この理念に基づき学校の教育目標やビジョンを保護者や地域の皆さんと共有し、地域と一体となって子どもたちの成長を育む「地域とともにある学校」の実現につなげていきましょう。